

# 観 住まい



響き合いながら、つながっていく。

8月8日。日曜日。午後1時。

夢木香主催の「親子でつくる木工教室」。会場の佐賀マツダ本社前駐車場からは、とても気分のいい波動が溢れ出し、その波動に共振するかのようになり、暑さも何のその、たくさんの人々が集まってきた。

当日、会場をリードしてくれた棟梁の納富和生さんは、講師というよりむしろ、何でも気軽に相談できる、頼りになるオジさん、という風情。会場として駐車場を提供していただいた井手良治さんも、「納富さんは腕も立つが、弁も立つ人」と紹介されていた。



会場中に笑い声と驚きの声絶えない。アツという間の4時間だった。

それにしても、平日は本業の家づくりで忙しんでいるのに、休日にも総出で、こうした催しをコツコツと続けている、夢木香の松尾代表と若いスタッフ達。「自分とは自然の分身なのだ」という気づき、そして生命とは何と不思議で、すばらしくて、凄いんだ、という気づき。そうした大切な気づきの場を提供し続けていただいている、夢木香のみな

さんのエネルギーには頭が下がります。

「はじめに売上ありきのエネルギーが独走してしまったら、こうした動きは生まれてこない。製造業も含めて、何かを提供するという意味では、仕事というのは全てサービス業だが、「このことを、一人でも多くの人々にSERVEしたい！」が、まずはじめになければ、エネルギーの陰・陽バランスが歪なものになってしまっ、大切な気づきを共有し、気分のいい世の中をいっ

あいさつに立った納富さんは、日本の伝統構法には欠かせない道具の一つである曲尺(かねじやく)を取り出して、その使い方を、この道具がいかにすぐれものであるか(裏面の目もりでも簡単に平方根を読むことができるなど)を、面白おかしく説明してくれた。日頃使っているノミやカンナ、それに自慢の槍ガンナも披露しながら、使い手、道具、素材の3者が、見事な生命のハーモニーを奏でながら、住まいという生命を創り出していく様子を話してくれる棟梁。

その語り口は、職人＝寡黙という一般の思い込みを、もの見事に吹っ飛ばしてくれる。好奇心旺盛で、専門の木との対話の仕方はもちろん、世界権力構造の力ラクリに到るまで、驚くべき博識。そして人的ネットワークの拡ぎ。話していてあきない。

会場に用意された、板の切れ端を下サツと持ってきて、「舟をつくりたいんです」と、10年くらいの男の子。舟をつくるのなら、構造材の方がいいんじゃないかな、と棟梁。12cm×7cmの角材を探し出して、持ってくる少

年。中心線の取り方を教えてあげる。軸先の曲線部分は、夢木香の林さんが電動ノコで切つてあげ、センターにマスト用の穴を電動ドリルであけてあげる。少年はお父さんと一緒に、操舵室やデッキまわりのフェンスを、自分なりに工夫しながらつくり上げていく。

自然素材だけの、子どもたちが喜ぶ家夢木香の施工を三日月に建てた今泉さん一家も参加していた。奥さんの話では、ホームセンターなどに行っても、自然素材の家に合う生活用品が、なかなか見つからないのだという。確かに！身近に潜んでいる化学物質の危険性について、警鐘を鳴らし続けている鹿児島ひとみさんも言っているとおりの、現代人は化学物質という反自然の海の中で暮らしているようなもの。市販されている生活用品の殆んどは、化学製品。

会場に用意された自然木を使って、今泉さん一家は、包丁刺しとトレットペーパーのホルダーをつくらせていた。

小生も、6才の長男がやりたがっていたポケモンづくりを手伝いながら、上がり框用の足台と、風呂場用の椅子づくりを楽しませてもらった。

会場に張られたテントで暑い日差しを避けながら、みんな思っているものづくりを楽しんでいる。子どもたちは大はしゃぎで、自然に、このことを観るのだらう。

しよにつくろうよ！。その想いの一つの表現として、自然素材の家づくりをSERVE(提供、奉仕)していく。売上や利益は後からついてくる結果でしかない。理想論？宇宙の理を理想というのなら、そのとおりだ。現実はそのほかにはない？現実とはひとりひとりの思い込みの反映にすぎない。その意味では、ひとりひとりが「そうはいかない」と思い込んでいる限り、確かに、そうはいかない。

しかし、生きとし生けるもの全ては、宇宙の根源が発するエネルギー波動の変化にシンクロしながら運動し続ける。エネルギーの陰・陽バランスが狂ってしまったら、今までの「経済システムなるもの(現実)が崩壊していき、夢木香のような小集団の活動が、エネルギーの流れを反転させ、人々の間に響き合いを拡大しながら、つながっていく。そして、結果的に陰・陽バランスを回復していく。宇宙の理、必然なのだ。



## 古民家再生 子どもたちとともに育つ家 完成見学会

☆3世代同居の住まいです。  
☆子どもたちは感性が豊かです。自然素材を無条件で喜びます。  
☆日本の住宅の寿命は30年。子や孫に残せる住まいは構造に秘密があります。

開催日 平成22年10月9日(土)10日(日)11日(月)

時間 10:00~17:00 場所 杵島郡白石町遠江

有限会社 夢木香 <http://www.yumekikou-happy.com>  
フリーダイヤル0120-835-832



古民家再生の見学会です。

- ①新しい大黒柱があります。
- ②古材の梁組を楽しめます。
- ③長ホゾ込接合の伝統的構法です。
- ④プレカットではない手刻みの構法です。
- ☆土壁の心安らぐ家をお望みの方。
- ☆木組みの家を夢見ておられる方。
- ☆ハウスメーカーに疑問を持たれている方。
- ☆金物を使わない構法を考えておられる方。
- ☆子どもたちが喜ぶ家をお望みの方。

以上一つのことでも考えている方は完成見学会にお越し下さい。

## 「古民家再生子どもたちが喜ぶ家」

NPO木の建築フォーラム主催「木の建築賞」をおかげさまでいただくことができました!!!

設計・施工 有限会社 夢木香

0120-835-832  
<http://www.yumekikou-happy.com>  
e-mail: yumekikou@globe.ocn.ne.jp  
TEL 0954-69-8333 / FAX 0954-69-8334  
佐賀県鹿島市大字三河内甲 2487  
日本民家再生協会正会員

第四回夢木香セミナー 日時 10月24日(日)13:30~15:30

場所 佐賀市交流センター 佐賀市白山2-7-1 エスプラッツ3F

「失敗しないための古民家再生&リフォーム」古民家再生士 松尾進

お問い合わせ お申し込み先 <http://www.yumekikou-happy.com> 先着30名様